特定非営利活動法人　すがもキッズ主催

2026年度 第1回 学習困難児研究会

6月27日（土）10：00～12：00

@相模原市立東林小学校

1 なぜ、この時期に「生き渋り」や「不登校」が増加してしまうのか？

【ミスマッチの時期と原因】

５月の連休明けから６月にかけては、「学校に行きたくない」と感じる子どもが増える時期です。特に支援を必要とする子どもにとって、環境の変化や関わり方のズレは大きな負担になります。しかし、多様な課題を抱える子どもが増加する一方で、学校現場の負担も年々高まっています。限られた人員と時間の中で、先生がすべての子どもに最適な支援を行うことは容易ではなく、“支援のミスマッチ”が起こりやすい状況にあります。

2 予防をするために保護者に必要な準備は？

【保護者が知識を持つ必要性】

行政の予算や学校の支援には限界があります。だからこそ、子どもを最も理解している保護者が「発達や認知の視点」を持つことが重要です。周りの大人が子どもの特性を正しく捉え、「いつでもSOSを受け止め、頼れる身近な存在」になること。それが、子どもが社会の荒波の中で孤立し、予期せぬトラブルや間違った選択に巻き込まれてしまうリスクを防ぐ、最大のセーフティネットになります。

3 どんなに忙しくても大切な子どもと向き合ってください。

【講演会への参加のお誘い】

我が子に合った支援は、「学び→相談→調整」の流れがあって初めて実現します。

すがもキッズの講演会では、子どもの特性を知る方法に加え、将来、重大な局面で「正しい判断」ができる力を育むための【認知機能】の大切さをお伝えします。根拠ある理解をもとに、まずは大人が学び、そして相談する。子どもの未来の選択肢を守るための有意義な時間を、ぜひ共に過ごしましょう。

【後援】

相模原市　相模原市社会福祉協議会　相模原市教育委員会

文部科学省の統計や現場の相談状況を踏まえると子どもの行動に注意が必要な時期は…

①ゴールデンウィーク明けから６月

「頑張ろう」という緊張感で乗り切ったあとに緊張の糸が切れてしまう時期です。

②夏休み明け～１０月

長期休みによって生活のリズムが崩れたり、宿題が終わっていなかったり、勉強についていけないことへの焦り。また「あの人間関係の中に戻らなければならない」という心理的負担

③大きな学校行事の前後

集団行動や練習の負担、人間関係の摩擦が表面化しやすいため。予兆のサインに注意！身体状態・行動の変化・学校の話題が少なくなるなど、子どもが発するSOSを感じ取り丁寧に見守ってください。

※具体的なサインの見極め方については、 講演会の中で詳しくお話しします。

【会場】相模原市立 東林小学校

住所：相模原市南区相南２-３-１

小田急相模原駅から「徒歩 15 分」
東林間駅から「徒歩　10 分」

心配なこと どこに相談すれば いいかわからない事 まずは巣鴨に ご相談ください

参加費無料

ご参加お申し込み
QR コード

2026 **6/27 Sat**

10:00-12:00

【第１回研究会 登壇予定者】
西村　学（すがもキッズ代表）
林　幹夫（公認心理士）

駐車スペースもご用意がありますので、車でのご来校も可能です。

※数に制限があるので、予約が必要になります。
※敷地内での盗難及び事故等につきましては、一切責任を負いません。

～第一部～　行き渋りの予防
- **ミスマッチの正体**
- **子どもの特性理解**
- **支援の考え方**
- **相談の質を考える**

～第二部～　具体的な対応方法

～広報「すがもだより」発行しています～

過去の学習困難児研究会の広報誌を発行しています。今までのすがもキッズの活動に興味がある方は一読いただけるとより一層すがもキッズの活動を理解していただけることと思います。

【お問い合わせ】
特定非営利活動法人　すがもキッズ
〒252-0328　神奈川県相模原市南区麻溝台 6-18-1
TEL：042-813-8558（SweetEggs 近く）
mail：enishikawa@sugamokids.or.jp
【HP】https://sugamokids.or.jp/
HPQR